

# 令和3年度「県民Webアンケート」結果の活用状況

活用状況選択

- A 実施中の事業・施策の改善 :7
- B 現在、検討している事業・施策の参考 :3
- C 今後、事業・施策を検討する際の参考 :4
- D その他 :0

| アンケートのテーマ名                  | アンケート実施期間  | 会員数 | 回収数 | 回収率 | アンケートの目的   | 活用状況                | 活用状況詳細  | 課名                      |
|-----------------------------|------------|-----|-----|-----|--|---------------------|---|-------------------------|
| 1 県広報媒体による新型コロナウイルスに関する情報発信 | 2021/7/7   | 269 | 240 | 89% | 令和3年3月から感染者が急増する危機的な状況の下、奈良県では4月27日から緊急対応措置を実施してきました。奈良県広報広域では、緊急対応措置期間中、様々な媒体を通じて、新型コロナウイルスの感染情報発信しています。新型コロナウイルス感染防止対策に関する情報発信の認知度を調査することを目的として、県広報媒体による新型コロナウイルスに関する情報発信に関するアンケートを実施します。  | A 実施中の事業・施策の改善      | ・奈良県が発信する新型コロナウイルスに関する情報は、幅広い世代で県広報紙「県民だより奈良」や奈良県公式ホームページを利用して収集している回答があったことから、「県民だより奈良」やホームページを主軸に、SNSやテレビなど複数の媒体を組み合わせて情報発信することにした。<br>・SNSを活用した情報発信では調査時点の投稿頻度(1日1~2回)が適当とする意見が半数を超えていたことから、2月16日時点より1日に2回を超えない程度で新型コロナウイルス関連情報の投稿を継続している。<br>・新型コロナウイルス感染対策のCM動画や解説動画はわかりやすいとの評価を得た一方で、認知度が低いことが分かったため、SNSでの感染対策の呼びかけに当該動画のリンクをつけることで動画サイトに誘導し、視聴回数が増加した。   | 広報広聴課                   |
|                             | 2021/7/13  |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 2 奈良県のエネルギー政策に関する意識調査       | 2021/7/7   | 269 | 240 | 89% | 奈良県のエネルギー政策は、環境にやさしいエネルギーの利活用による地域活力の向上、緊急時のエネルギー対策の推進、エネルギーを効率的に使うライフスタイルの推進を基本方針としています。令和3年度までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出を実質ゼロにする脱炭素社会の構築を目指すため、今回、平成30年度に行ったアンケートと同内容である再生可能エネルギーや、水素を原料とした次世代自動車等に関する意識調査にご協力いただき、現在のニーズや意識の変化を把握し、今後の施策を検討するための参考指標として活用したいと考えています。  | B 現在、検討している事業・施策の参考 | ・次期エネルギービジョンに、アンケート結果の一部(水素ステーションの認知度)を記載した。<br>・アンケート結果から、まだまだ認知度が低いことがわかったため、イベント開催に際して、普及に努めることとした。来年度も引き続き、普及啓発イベントを開催する予定である。  | 環境政策課                   |
|                             | 2021/7/13  |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 3 デジタル化に関する意識調査             | 2021/7/21  | 269 | 231 | 86% | 奈良県では、デジタル技術を活用して便利で快適な社会(デジタル社会)の実現を目指しています。これからデジタル化を進めていくことに関して皆さまのご意見を伺います。これからデジタル化を進めていくことに関して皆さまのご意見を伺います。ご回答いただいた内容については、個人が特定される情報を除いた上で、県庁HP等に掲載する場合がありますが、令和3年度策定予定の地域デジタル化戦略策定の参考にさせていただきます。   | C 今後、事業・施策を検討する際の参考 | 令和3年度策定予定の奈良デジタル戦略(地域デジタル化戦略)策定の参考とした。<br>さらに多くのご意見を伺うために、奈良デジタル戦略について、ハブリックコメントを実施した。  | デジタル戦略課                 |
|                             | 2021/7/27  |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 4 奈良県馬見丘陵公園に関する認知度、興味度調査    | 2021/8/4   | 269 | 234 | 87% | 奈良県馬見丘陵公園は、広域圏と河合町にまたがり、園内数々の古墳群と、良好な自然環境が残された地域にある都市公園で、令和3年に開園から30年経過しました。今後も、県民の憩いの空間としてにぎわいを創出するため、奈良県馬見丘陵公園のニーズ把握や、今後の事業計画の検討を行うなど継続的に改善に取り組んでいます。改善効果の検証や新たな改善策の検討のために、公共交通に対する満足度や様々な利用目的・形態を踏まえた移動ニーズを継続的に把握することが必要であるとされており、県民の皆さまのご協力を頂き、今後の検討に際しての基礎資料とさせていただきます。   | B 現在、検討している事業・施策の参考 | ・馬見丘陵公園の魅力について「四季折々の花」の比率が最も高い点、また馬見丘陵公園を利用する目的について「花鑑賞」の比率が最も高い点を参考として、「花」をテーマに見る魅力向上の検討を進める。<br>・馬見丘陵公園への主な交通手段として電車の利用が低い状況にある点、また馬見丘陵公園を利用する目的について「花鑑賞」について「気分転換・リフレッシュ」以外の比率が高い点を参考として、最寄り駅である近鉄池原駅に近い緑道エリアにウォーキングルートの環境を整備することについて検討を進める。<br>・馬見丘陵公園に不足しているものについて「休憩所」の比率が最も高い点を参考として、休憩所の充実に向けた検討を進める。<br>・馬見丘陵公園に行ったことがない約30%が馬見丘陵公園の見所が分からないというアンケート結果を参考に、多様な媒体を通じて馬見丘陵公園の見所について情報発信の強化を図るべく検討を進める。   | 公園緑地課                   |
|                             | 2021/8/10  |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 5 自転車の安全利用に関する調査            | 2021/8/18  | 269 | 238 | 88% | 自転車は子供から高齢者まで幅広い年齢層にわかり、身近で手軽に利用できる移動手段です。しかし、自転車は車両の仲間であり、正しく利用しないと事故を起こす危険な乗り物になってしまいます。このことから、自転車の安全利用に関する調査を実施し、県民の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。   | A 実施中の事業・施策の改善      | ・アンケート結果から、約半数の人が自転車を利用していることがわかった。<br>・自転車乗用により自転車保険の加入が義務となっているが、自転車保険加入率は約7割であった。引き続き、各種啓発を行うことで、自転車保険加入率の向上に努める。<br>・自転車利用時のヘルメット着用率は非常に低くっており、「着用が面倒だから」「周りの人が着用していないから」などの理由により着用しない人が多いことがわかった。  | 安全・安心まちづくり推進課           |
|                             | 2021/8/24  |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 6 県内の公共交通に対する満足度等に関するアンケート  | 2021/9/1   | 269 | 228 | 85% | 奈良県では、効率的で持続可能な地域公共交通の確保に向けて、県、市町村、交通事業者等で構成する奈良県地域交通改善協議会において、毎年の利用状況等に基づいて路線バスの運行計画の見直しを行うなど継続的に改善に取り組んでいます。改善効果の検証や新たな改善策の検討のために、公共交通に対する満足度や様々な利用目的・形態を踏まえた移動ニーズを継続的に把握することが必要であるとされており、県民の皆さまのご協力を頂き、今後の検討に際しての基礎資料とさせていただきます。  | A 実施中の事業・施策の改善      | ・アンケート結果及び各段階でいただいた意見については、奈良県地域公共交通改善協議会などの場において、県のみならず、市町村、交通事業者等も共有し、地域における公共交通のあり方の検討に活用させていただきます。  | リニア推進・地域交通対策課           |
|                             | 2021/9/7   |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 7 奈良マラソンに関する県民意識調査          | 2021/9/15  | 269 | 233 | 87% | 今年で12回目となる奈良マラソンを、安全に開催できることを条件に、12月1日に開催いたします。秋以降はワタシの一般参加者がかなり増えて見通しの、開催内容を見直し、徹底した感染症対策を行います。県民の皆様のご理解のもと、より良い大会運営ができますよう、皆様のご理解やご協力を頂きます。毎年継続して調査を行うことで、毎年の変化や傾向を把握し、より一層魅力ある大会づくりを目指したいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。   | A 実施中の事業・施策の改善      | ・奈良マラソンの認知度は85.7%、大会開催の賛同率はコロナ禍の本年でも72.5%というアンケート結果から、多くの県民の方に認知・賛同いただいていることがうかがえる。<br>・アンケート結果を参考にしながら、令和3年12月12日(日)に奈良マラソン2021を開催した。自由参加の質問では、今年度は新型コロナウイルス感染症に関する懸念の声が多く、感染症対策を徹底して開催した。<br>・コロナ禍が終息した後の「奈良マラソン」の取組としてよいと思うものは何かという質問に対しては、「EXPOやGAIPOフックなどによる県民の魅力発信をさらに推進する」「子どもからお年寄りまで家族みんなで参加できる種目・イベントを実施する」という回答が多かった。これらの意見をふまえて、奈良の魅力を発信するための取組や広域連携化を行い、社会情勢を考慮した上で来年度以降の奈良マラソンをさらに盛り上げるよう努める。   | スポーツ振興課(奈良マラソン実行委員会事務局) |
|                             | 2021/9/21  |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 8 古事記・日本書紀・万葉集に関する認知度、興味度調査 | 2021/9/29  | 269 | 238 | 88% | 奈良県では、古事記完成1300年にあたる2012年から、日本書紀完成1300年にあたる2020年までの9年間にわたり、「なら記紀・万葉プロジェクト」を推進してまいりました。2021年以降も歴史文化を軸にした様々な取り組みを実施し、それぞれの時代を考えることにつながる取組を進めるとともに、奈良県各地が会場とする歴史関連資料の掘り起こしや整理、情報発信を行い、プロジェクトを推進してまいります。そこで、奈良県の歴史文化を代表する万葉集である、古事記・日本書紀・万葉集について、皆様のご理解やご協力を頂きます。このアンケートは平成22年度より同様の設問で実施しておりますが、経年による変化も把握したいと思っておりますので、過去のアンケートにお答えいただいた皆様も御協力をお願いします。 | C 今後、事業・施策を検討する際の参考 | ・平成22年度から同じ設問によるアンケートを実施し、「記紀・万葉」に関する県民意識の醸成の経年変化を調査。11年分のデータ蓄積によって、県民の認知度、興味度がより顕明になり、また、記紀或回答にも積極的にご意見をいただき、今後の広報や事業展開を考える際の参考になっている。<br>・アンケートのご意見を参考に、県民の方に、「記紀・万葉」により親しまっていただけるイベントの実施を検討する。<br>・SNS等イベントの周知が十分でないとお声を踏まえ、情報発信の強化を検討する。  | 文化資源活用課                 |
|                             | 2021/10/15 |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 9 県広報媒体利用状況について             | 2021/10/13 | 269 | 229 | 85% | 県では、広報誌、テレビ・ラジオ、インターネット、SNSやスマホアプリなど多様な媒体を活用して県政情報を発信しています。県でも引き続き、各世代へ配布している県広報紙「県民だより奈良」や県ホームページ・SNSのほか、「なつたアプリ(ナツタ)」などでのテレビ放送の番組、スマホアプリ「ナラプラス」などについて、認知度や関心(視聴)頻度を調査し、より一層の内容充実を図るためのアンケートを行います。  | A 実施中の事業・施策の改善      | ・アンケート結果から、県広報紙「県民だより奈良」は、県政情報の入手媒体として定着していることがわかる。今後も読者を意識した読みやすい紙面づくりを目指す。<br>・テレビ番組によって認知度にばらつきがあり、各種媒体における告知や、番組プレゼントなどの県民参加の取組を行い、認知度の向上に努める。<br>・ホームページについては県政情報の入手先として県広報紙、テレビの次に利用されている。引き続き随時点検・改善を行い、必要な情報を入手しやすく、わかりやすいホームページづくりに努める。<br>・広報広聴課所管の各種SNS(facebook「まるごと奈良県」、twitter「せんとくんのつぶやき」、奈良県公式LINE)は、どのSNS媒体も概ね5割程度の認知度があり、それぞれのSNSユーザーの関心につながるよう発信内容を工夫する。<br>・H28年1月から配信を開始したスマホアプリは、徐々にではあるが認知度は向上しており、年々着実にダウンロード数は増加している。今後も益々の認知度向上を図り、利用者にとって使いやすいアプリとするため、内容の充実にも努める。 | 広報広聴課                   |
|                             | 2021/10/19 |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 10 奈良県の生物多様性について            | 2021/10/27 | 268 | 229 | 85% | 平素より、貴の自然環境の保全にご協力いただき、ありがとうございます。同僚では、県では平成25年度に「生物多様性戦略」を策定しました。同僚では、生物多様性への認知度を高めることを目標の1つに掲げております。そこで、皆様の生物多様性への意識や認知度について現状を把握するためアンケートを実施し、今後の取り組みに活用させていただきます。ご協力をお願いします。ご多用のところ恐れ入りますが、ご協力のほど、よろしくお願いたします。   | B 現在、検討している事業・施策の参考 | 令和4年度より、生物多様性戦略改定事業を開始するので、改定作業にアンケート結果を活用する予定。   | 景観・自然環境課                |
|                             | 2021/11/2  |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 11 食品ロス削減の推進に関するアンケート調査     | 2021/10/27 | 268 | 229 | 85% | 令和元年10月1日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」の施行に伴い、県では、令和3年4月に「奈良県食品ロス削減推進計画」を策定し、食品ロス削減の推進に取り組んでおります。このたびは、今後の食品ロス削減に向けた施策に活かすため、アンケート調査を実施することになりました。調査の趣旨をご理解頂き、ご協力いただけますようお願い申し上げます。   | A 実施中の事業・施策の改善      | ・アンケート結果から、「食品ロス」が問題となっていることを「よく知っている」県民の割合を、食品ロス削減の指標として活用。<br>・アンケート結果から、「今後、食品ロス削減に取り組むために、知りたい情報」を来年度啓発イベントの内容を検討する際に参考。  | 豊かな食と農の振興課              |
|                             | 2021/11/2  |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 12 奈良県の住まいに関する意識調査          | 2021/11/10 | 268 | 236 | 88% | 人口減少・少子高齢化などの社会情勢の下、奈良県内の住宅地や住まいの在り方も変化してきております。そのような中、県では「暮らしやすい奈良県」を実現するため、「奈良県住生活基本計画」の見直しなど検討・議論を進めているところです。このアンケート調査では、コロナ禍等による社会経済情勢の変化に伴う、住まいの在り方に対する意識の変化を把握し、暮らしやすい奈良県を実現するための取組の検討にさせていただきます。前回に引き続き、「各タイプ・タイプ」における住まいの在り方「空き家」「中古住宅」などに対する皆様のお考えを伺うものです。  | C 今後、事業・施策を検討する際の参考 | ・来年度「奈良県住生活ビジョン」の改訂作業を行うにあたり、既存の統計調査結果等に加え、今回のアンケート結果を参考にし、施策の検討に役立てる。  | 住まいまちづくり課               |
|                             | 2021/11/16 |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 13 医薬品の服用に関する意識調査           | 2021/11/24 | 268 | 217 | 81% | 医療費の適正化における重要施策の一つとして、ジェネリック医薬品の推進及び医薬品の適正使用が掲げられています。そのため、ジェネリック医薬品の使用促進や適正使用に関する県民の意識調査を行い、今後の施策推進における参考指標として活用します。奈良県が策定した第3期医療費適正化計画の計画期間が平成30年度から令和5年度までの6年間であることから、経年比較を行うため、昨年度と同テーマのアンケートを実施します。   | A 実施中の事業・施策の改善      | ・地域の実情に応じたジェネリック医薬品の使用や医薬品の適正使用を促進するに当たり、平成30年度から地域ごとに順次上り上げている「医薬品適正使用促進地域協議会」で市町村や地区医師会、地区薬剤師会、地域の中核病院等とアンケート結果を共有する予定です。<br>・医薬品に対する県民意識を共有することで、ジェネリック医薬品の使用促進におけるアプローチ方法の検討など、実施中の事業等の改善に役立てています。  | 医療保険課業務課                |
|                             | 2021/11/30 |     |     |     |  |                     |   |                         |
| 14 交通安全に関する調査               | 2021/12/8  | 268 | 223 | 83% | 横断歩行者が関係する交通事故を減少させるため、交通安全に関する調査を実施し、県民の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。   | C 今後、事業・施策を検討する際の参考 | ・アンケート結果から、信号機のない横断歩道に歩行者がいた場合に「必ず一時停止している」と回答した方は約半数であった。<br>・一時停止しない理由としては「後続から車が来ておらず、自車が通り過ぎれば歩行者は渡れると思うから」「歩行者が歩かずに歩いているため」横断歩道に歩行者がいても渡るかどうか判断しないから、「一時停止した際に後続車が追突されことになる(追突されたことがある)」などの意見が多かった。<br>・横断歩道で歩行者が犠牲になる事故が後を絶たないことから、横断歩道における歩行者優先義務の周知徹底を図る。   | 安全・安心まちづくり推進課           |
|                             | 2021/12/14 |     |     |     |  |                     |   |                         |

平均回答率 86.3%